

農業版事業継続計画書 簡易版

策定・改定日	令和3年10月8日	従業員・家族共有日 (原則策定・改定日から1ヶ月以内)	令和3年11月30日	次回改定予定日 (原則1年毎に改定)	令和4年11月1日
--------	-----------	--------------------------------	------------	-----------------------	-----------

想定リスク	台風、大雨、大雪による水害
-------	---------------

1. 基本方針

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	スタッフの家族を含めた人命の安全を最優先とする。(スタッフの不安の解消)
2	圃場や設備、機械等の被害状況確認後、年間計画を修正する
3	流通システム等インフラの復旧後作物の出荷優先順位(取捨選択)を設定して出荷可能なものから出荷する。

2. 重要業務と目標復旧時間

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	被害状況の確認と栽培管理
目標復旧時間	3日から1週間以内

3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

種別	影響	対応(代替手段等)
電気	ネギコンプレッサー	泥ねぎの出荷もしくは出荷時期調整
ガス	—	—
水道(農業用水含む)	道具の洗浄、散水、トイレ	他の水源利用(井戸、農業用水等)
情報通信	販売情報、端末故障、スタッフ間通話通信	固定電話、携帯電話を状況により使い分ける
交通	トラック等使用不可	早期復旧
ほ場等	水没等侵入不可能	複数圃場で栽培
その他		

4. 事前対策の実施状況

分類	項目	
ヒト	安否確認手段	グループlineによる確認
	避難場所	自社駐車場
	欠員時の対応	出荷の優先順位設定
	その他	
モノ	設備使用不可時の対応	調整作業を省いた出荷方法をとる
	調達支障時の対応	パック資材については代替物で対応、燃料は不足が出ないように備蓄する、農薬の在庫確保
	その他	
カネ	手元資金	1週間分の必要経費を用意する
	その他	備考
セーフティネット	保険加入	収入保険
	その他	備考
情報	重要情報保管場所	PCファイルおよび紙ファイル(パスワード経営者)
	PC等使用不可時の対応	クラウド上へのバックアップ(パスワード経営者)
	その他	
地域連携	農業青年会議所等での連携の模索	

5. 緊急時の体制

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)
A氏(B氏)	A氏(C氏)

【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生~24時間以内)

○状況確認

確認対象	担当者	
役員・従業員	家族を含めた安否確認	A氏
建物・設備	ITを含む状況	A氏
その他事業資源	肥料・飼料・農薬等の在庫	A氏
取引先	状況確認	A氏
インフラ	電気・ガス・水道・交通等の状況	A氏
その他		A氏

○備蓄品の状況

品名	各車に配備	その他	数量
救急箱	各車に配備	その他:水	冷凍飲料30本
飲料水	各車及び作業場	その他:保冷剤	20枚
食料	非常食・米・薪	その他:ガソリン	20ℓ
ヘルメット	機械ごとに用意	その他:灯油および軽油	100ℓ

○出勤・帰宅ルール

状況	原則ルール
出勤時	帰宅 および 待機(自宅との距離による)
在宅時	自宅待機
その他	

【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後~)

○重要業務継続の具体的方法

対応手順	担当者
収穫、作物管理	C氏、D氏
出荷、出荷調整	E氏、F氏
必要物品の購入等手配	A氏
状況確認の継続	A氏

BCP策定後の運用 日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」「策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。